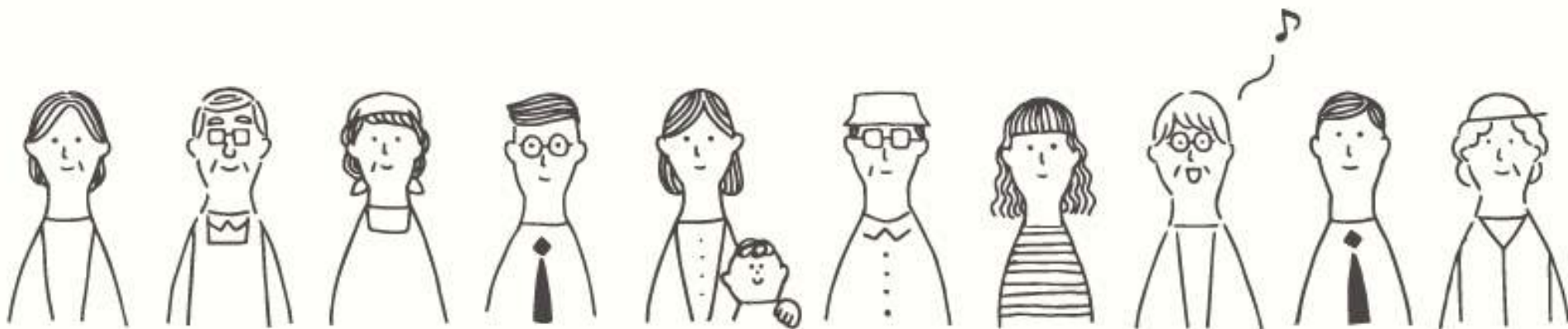




いくつになっても、いきいきと暮らせるまちをつくる

東京ホームタウンプロジェクト

TOKYO=HOMETOWN PROJECT



平成29年度 事業概要



東京都福祉保健局

事務局

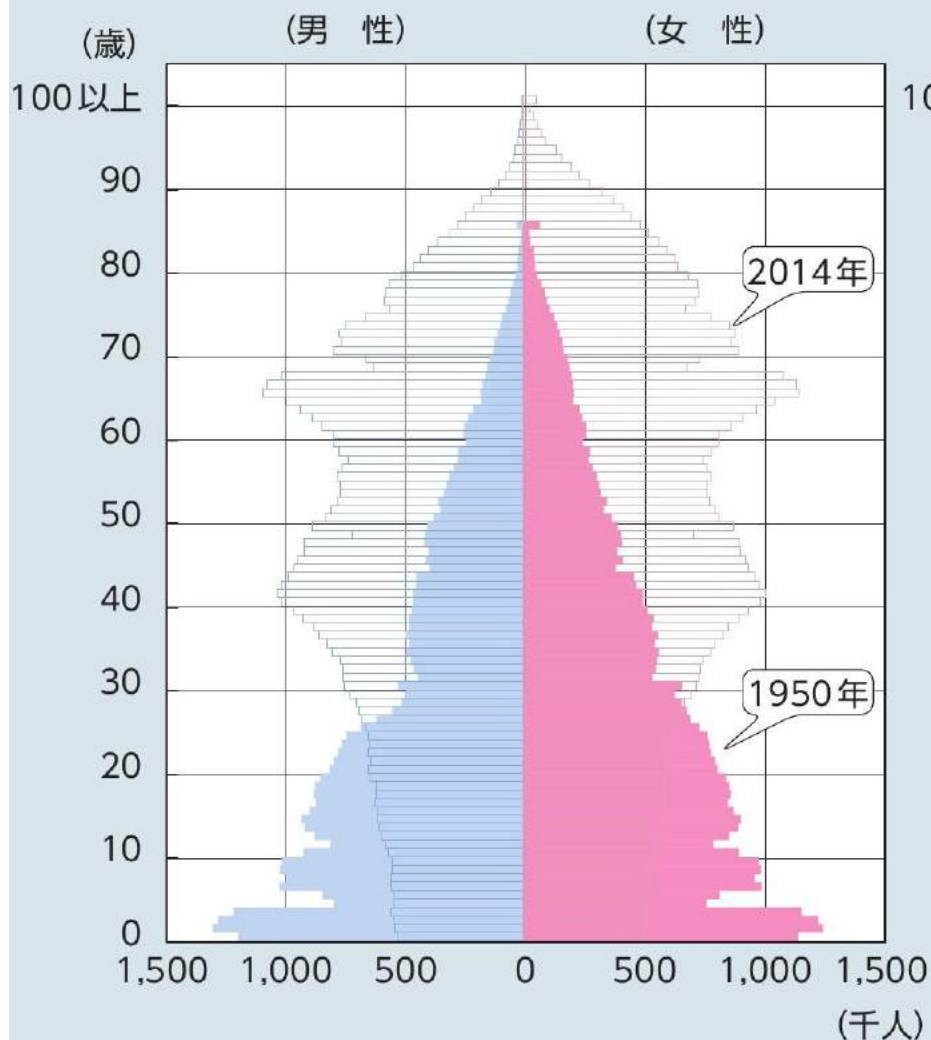


東京都からの説明資料

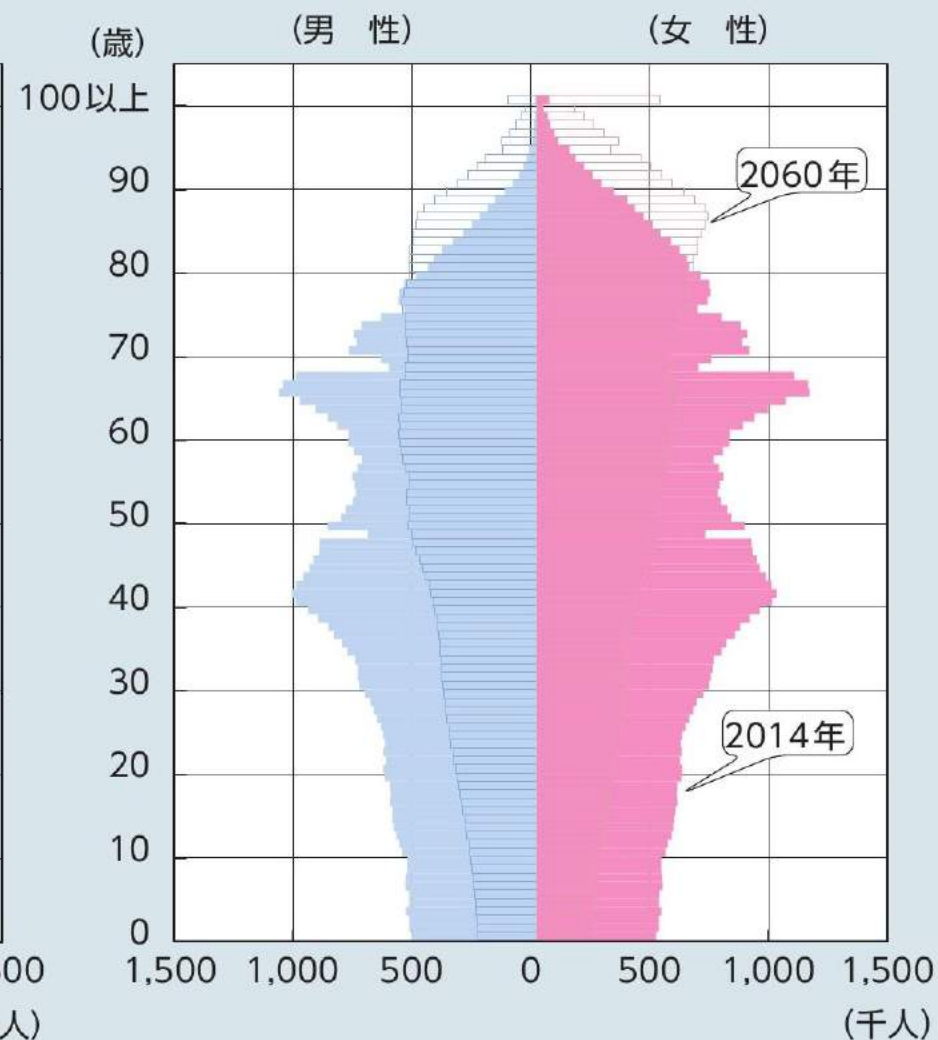
- ◆ 本格的な超高齢社会の到来
- ◆ 高齢化への対応策
地域包括ケアシステムの構築
- ◆ 東京ホームタウンプロジェクト

日本の人口ピラミッドの比較

【1950年と2014年の比較】



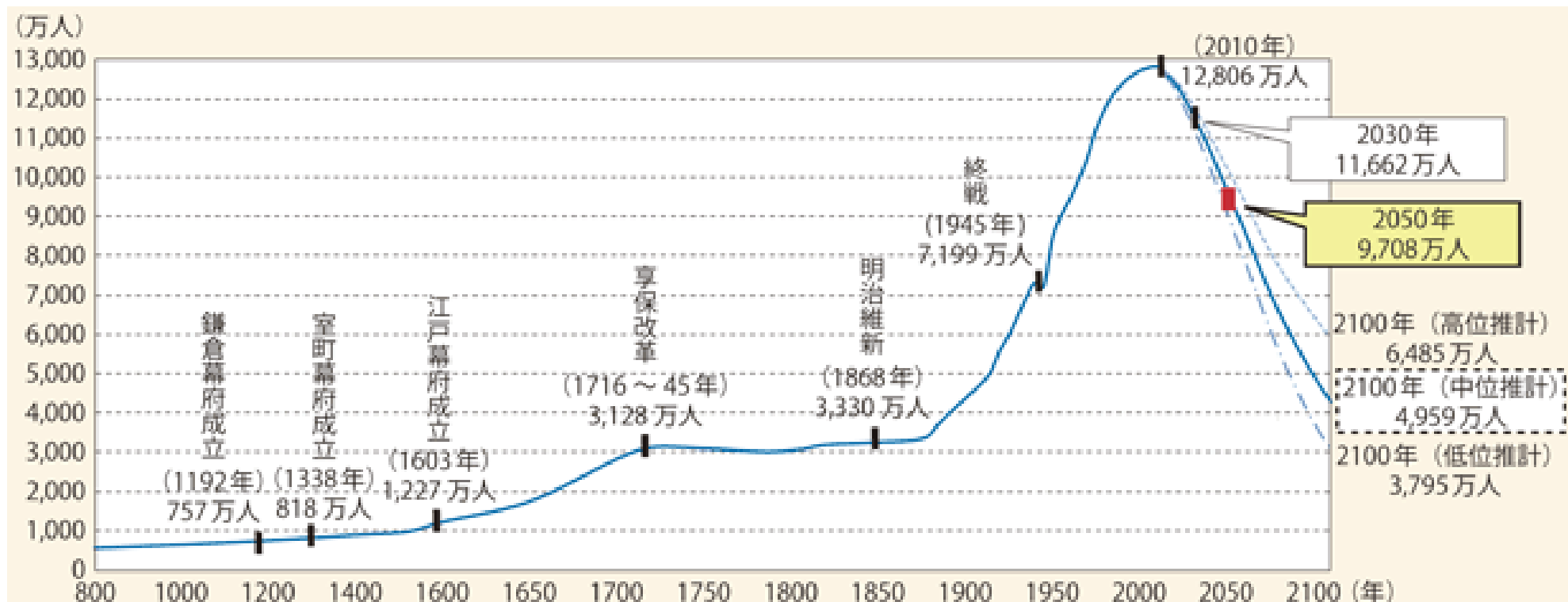
【2014年と2060年の比較】



資料：1950年及び2014年：総務省統計局「国勢調査」及び「人口推計」（年齢不詳の人口を按分して含めた）

2060年：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」（出生中位・死亡中位推計）

長期的な我が国の人口推移



資料) 2010年以前は総務省「国勢調査」、同「平成22年国勢調査人口等基本集計」、国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析」(1974年)、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(2012年1月推計)」より国土交通省作成

65歳以上人口の割合 世界一
2040年以降は、死亡数から出生数を差し引くと毎年約100万人ほどが減少していく

介護給付と保険料の推移

- 区市町村は3年を1期（2005年度までは5年を1期）とする介護保険事業計画を策定し、3年ごとに見直しを行う。保険料は、3年ごとに、事業計画に定めるサービス費用見込額等に基づき、3年間を通じて財政の均衡を保つよう設定。
- 高齢化の進展により、2025年には保険料が現在の5000円程度から8200円程度に上昇することが見込まれており、地域包括ケアシステムの構築を図る一方、介護保険制度の持続可能性の確保のための重点化・効率化も必要となっている。

事業運営期間		事業計画	給付（総費用額）	保険料	介護報酬の改定率
2000年度	第一期	第一期	3.6兆円	2,911円 (全国平均)	H15年度改定 ▲2.3%
2001年度			4.6兆円		
2002年度			5.2兆円		
2003年度	第二期	第二期	5.7兆円	3,293円 (全国平均)	H17年度改定 ▲1.9%
2004年度			6.2兆円		
2005年度			6.4兆円		
2006年度	第三期	第三期	6.4兆円	4,090円 (全国平均)	H21年度改定 +3.0%
2007年度			6.7兆円		
2008年度			6.9兆円		
2009年度	第四期	第四期	7.4兆円	4,160円 (全国平均)	H24年度改定 +1.2%
2010年度			7.8兆円		
2011年度			8.2兆円		
2012年度	第五期	第五期	8.9兆円	4,972円 (全国平均)	消費税率引上げに伴う H26年度改定 +0.63%
2013年度			9.4兆円		
2014年度			10.0兆円		
2015年度	第六期	第六期	10.1兆円	5,514円 (全国平均)	H27年度改定 ▲2.27%
2016年度					
2017年度					
2020年度				6,771円 (全国平均)	
2025年度				8,165円 (全国平均)	

※2012年度までは実績であり、2013～2015年は当初予算である。

※2020年度及び2025年度の保険料は全国の保険者が作成した第6期介護保険事業計画における推計値

人口減少と生活支援ニーズの増大

人口減少社会

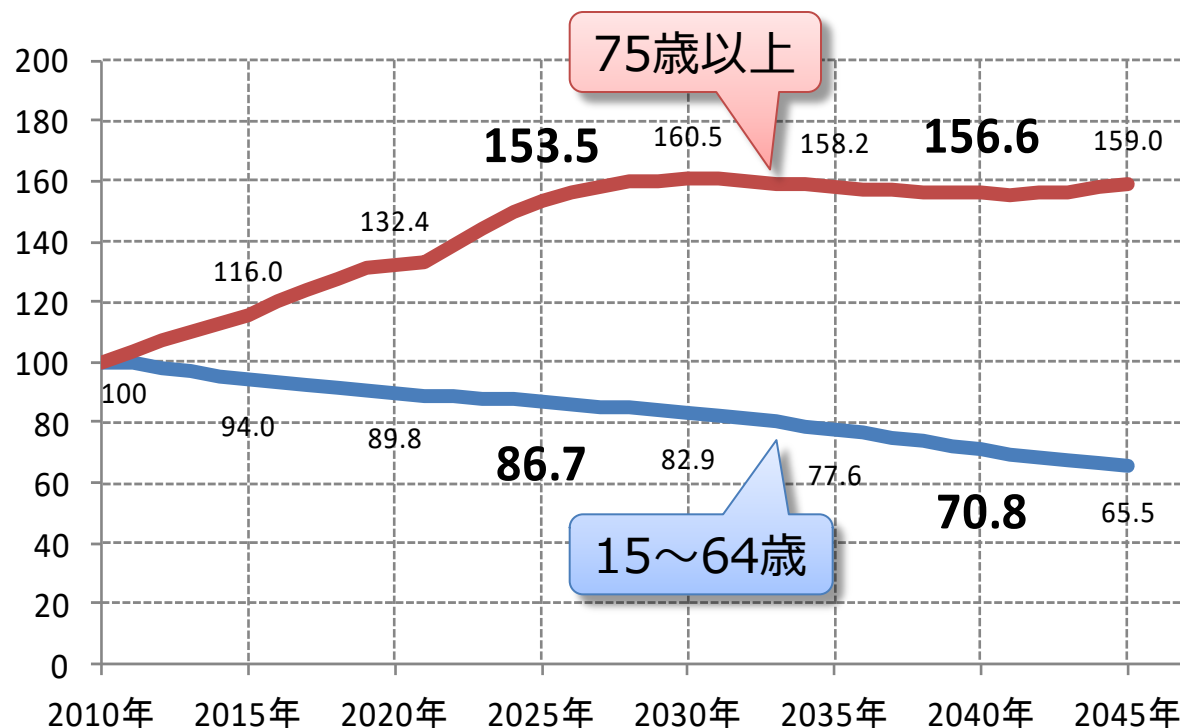


担い手の不足



増大する地域のニーズに応える方法

2010年の人口を100とした場合の推計値



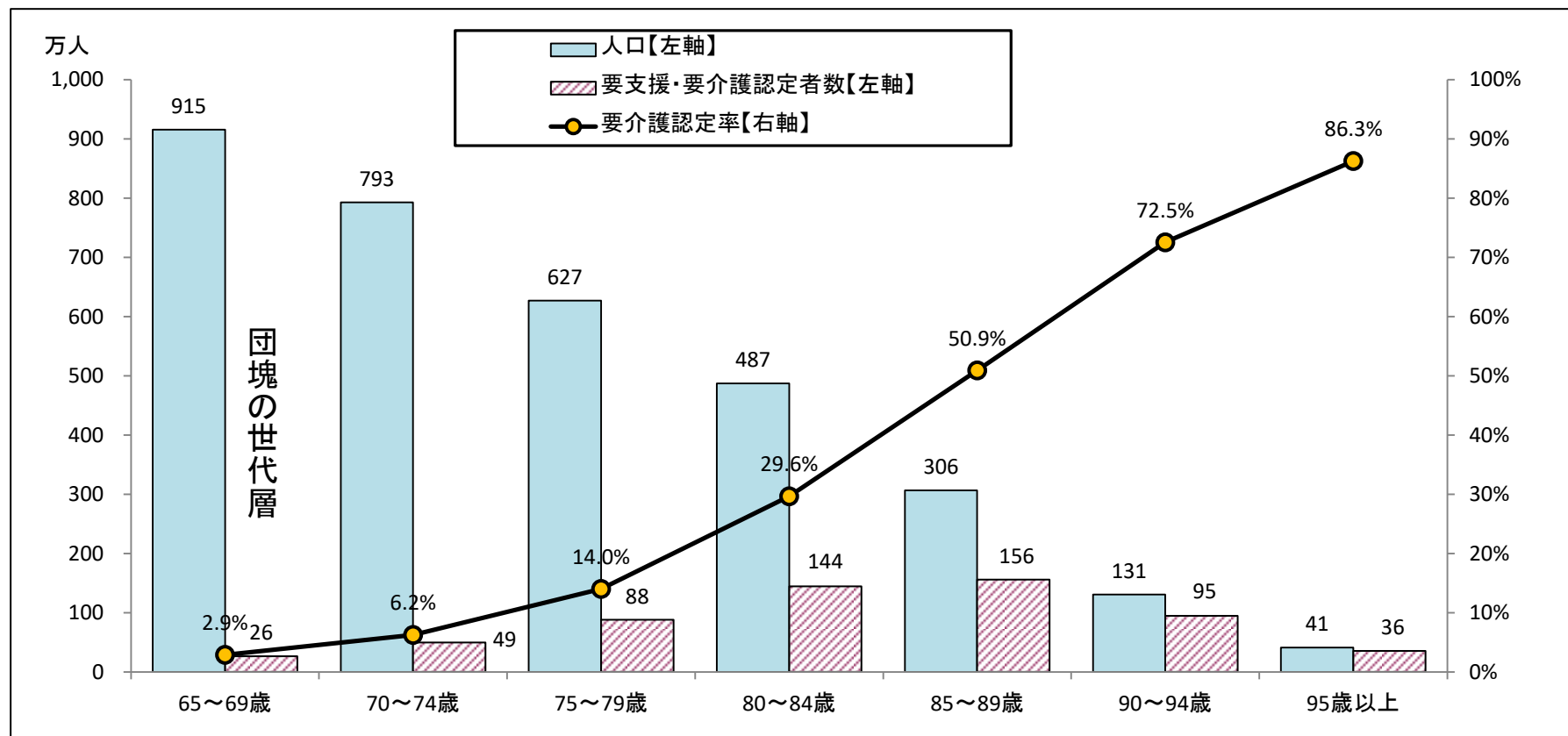
① 活動的生活の継続による介護予防の強化

② 専門職以外の生活支援の担い手の確保

高齢者人口と要介護認定率

- 年齢階層別に認定率をみると、80歳以上から認定率約3割と急上昇する
一方、団塊の世代が75歳を迎える2025年には、元気なシニア層も増加

【年齢階級別要支援・要介護認定者数と認定率(平成26年10月)】(全国)



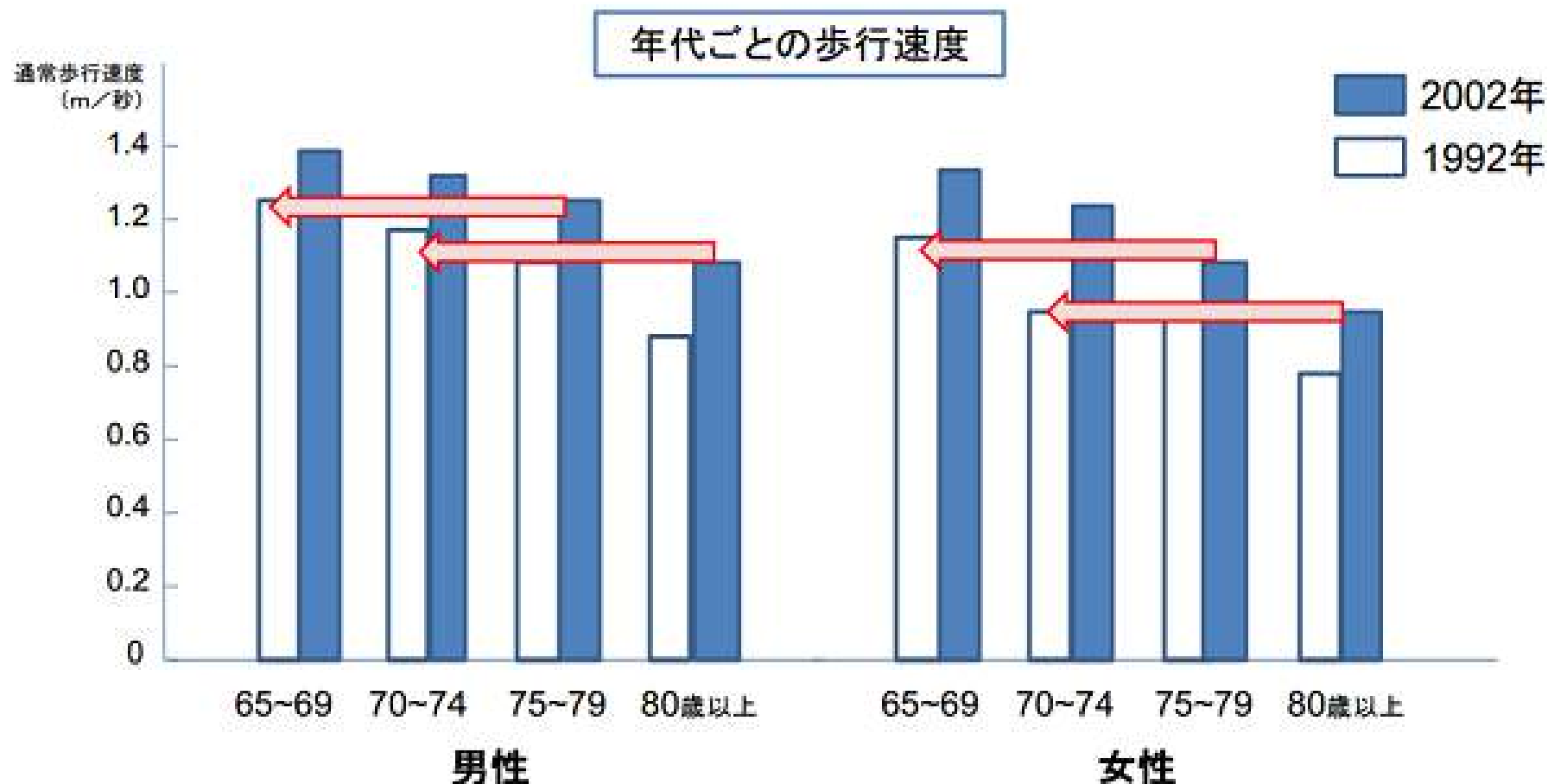
【出典】厚生労働省「介護給付費実態調査」、総務省「人口推計」より作成

65歳は高齢者にあらず？？？

身体機能のレベルを測定するのに適している『歩行スピード』、東京都老人総合研究所が1992年と2002年に、約4000人を対象にふだんの歩行スピードを調査

○1992年の64歳の歩行スピードと、2002年の75歳とほぼ同じ

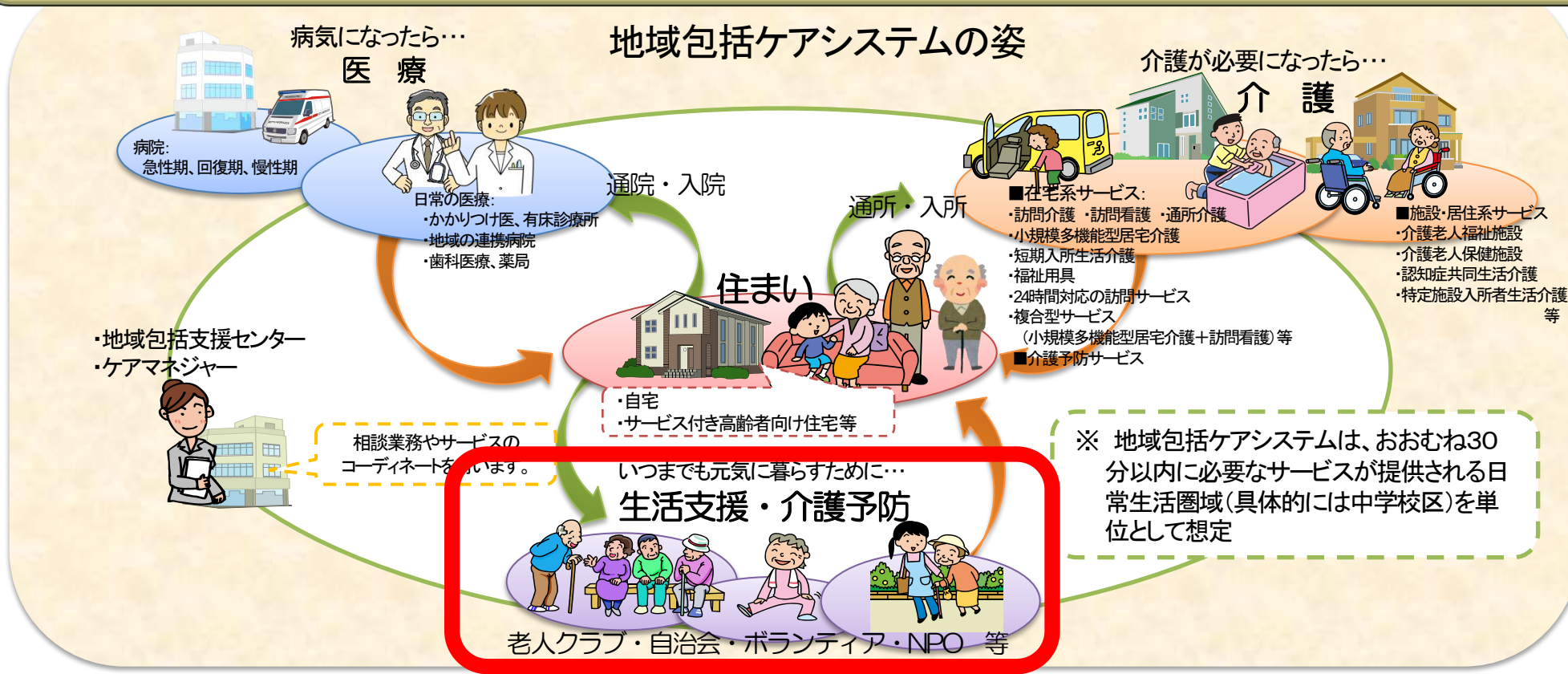
○10年前にくらべ11歳も身体機能が若返っている



出所：鈴木隆雄他「日本人高齢者における身体機能の縦断的・横断的变化に関する研究」
(第53巻第4号「厚生指標」2006年4月 p 1-10)

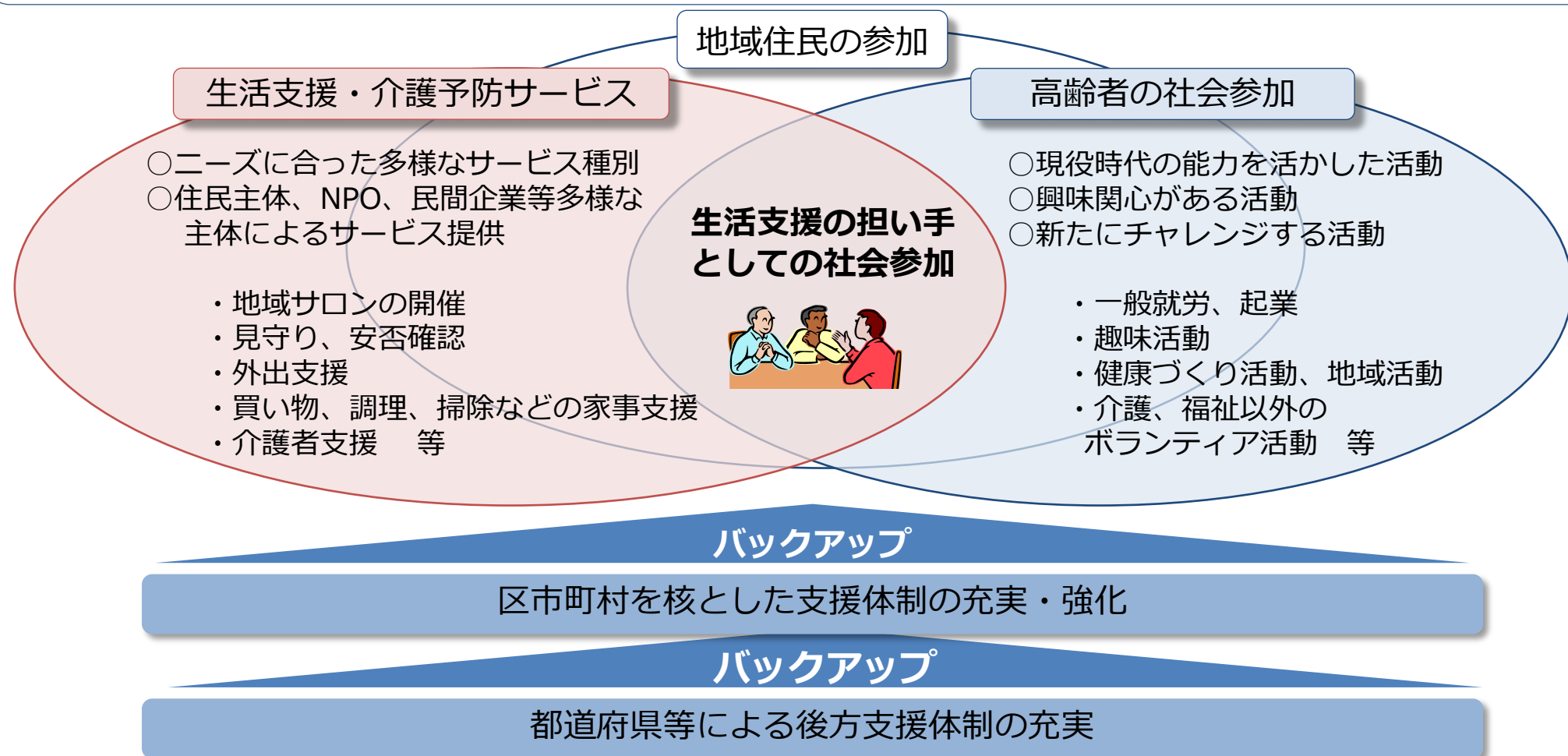
地域包括ケアシステムの構築について

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制(地域包括ケアシステム)の構築を実現。**
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差。**
- 地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要。**



8 生活支援体制整備事業 生活支援・介護予防サービスの充実と高齢者の社会参加

- 単身世帯等が増加し、支援を必要とする軽度の高齢者が増加する中、生活支援の必要性が増加。ボランティア、NPO、民間企業、協同組合等の多様な主体が生活支援・介護予防サービスを提供することが必要。
- 高齢者の介護予防が求められているが、社会参加・社会的役割を持つことが生きがいや介護予防につながる。
- 多様な生活支援・介護予防サービスが利用できるような地域づくりを区市町村が支援することについて、制度的な位置づけの強化を図る。具体的には、生活支援・介護予防サービスの充実に向けて、ボランティア等の生活支援の担い手の養成・発掘等の地域資源の開発やそのネットワーク化などを行う「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）」の配置などについて、介護保険法の地域支援事業に位置づける。



これからの介護予防・生活支援は「地域づくり」

1. 地域生活は専門職だけでは支えられない ―ご近所からボランティア、専門職までみんなで支える

現状の課題

友人・隣人との交流



支援や介護が必要になると、
友人・隣人との関係は希薄になり、
支援を受ける一方向の人間関係に変化



これから

専門職サービス



“お互いさまの助け合い”の輪を広げていくことで、支援や介護
が必要になっても、地域社会の中から切り離されず、なじみの
関係を継続できる

＜東京都事業＞ 高齢化に対応する 「地域づくり」を応援



いくつになっても、いきいきと暮らせるまちをつくる

東京ホームタウンプロジェクト

TOKYO=HOMETOWN PROJECT



東京ホームタウンプロジェクト



いくつになっても、いきいきと暮らせるまちをつくる

東京ホームタウン

プロジェクト TOKYO=HOMETOWN PROJECT

目的

東京の強みである活発な企業活動、豊富な経験と知識を持った多くの人たちの力を活用し、地域包括ケアシステムの構築に資する「地域貢献活動」を活性化

取組

1 地域福祉団体の運営基盤強化

ビジネススキルや専門知識を活かしたボランティア活動である「プロボノ」により、地域貢献活動を展開している団体に対し、運営活動面からの支援を提供

- ・長期プロジェクト（3～6か月）
- ・短期プロジェクト（1日）

2 新たな担い手・活動の創出に向けた支援

地域福祉の担い手や新たな活動を創出するため、各地域において中核支援を行う区市町村、社会福祉協議会、地域包括支援センター等の取組を支援

- ・セミナーの開催
- ・伴走支援の実施（個別相談10地区、現地訪問支援5地区（重複あり））

3 Webサイトによる情報発信

NPO法人や元気な高齢者など多様な主体による地域貢献活動の情報を発信

- 進捗状況をリアルタイムに更新、課題解決のモデルケースを提示
- 幅広い世代や多様な分野の人が興味を持てるコンテンツ

4 総括イベントの開催

東京ホームタウンプロジェクトの取組のうち、特に優れた事例を紹介するなど、本事業の成果を発信

企業人や元気な高齢者に対し、
広く地域貢献活動への参加のきっかけを提供

東京ホームタウンプロジェクト

区市町村等を対象としたセミナー・伴走支援

地域活動団体や新たな担い手を地域課題解決のためにコーディネートする取組を支援

運営活動面からの支援（「プロボノ」の活用）

- ＜例＞
- | | |
|------------|--------------|
| ●情報発信基盤の強化 | ●ウェブサイト作成 |
| ●資金調達力の強化 | ●営業資料作成 |
| ●業務改善・効率化 | ●運営マニュアル作成 |
| ●事業戦略の策定 | ●マーケティング基礎調査 |

区市町村

- 広報誌等での紹介
- 活動場所の提供
- 活動費補助 等



高齢者・家族・地域住民



日常的な活動の推進

地域の支援ニーズに対応したサービスを提供

地域福祉の担い手団体



運営基盤の強化

活動の質・量を拡充していくための運営基盤を構築

東京ホームタウンプロジェクト 「プロボノ」 による支援（平成27年度）

長期プロジェクト（3～6か月）

地域名	団体名	支援内容
墨田区	太壱みまもりネットワーク	ウェブサイト
立川市	見守りネット・結サポートセンター	マーケティング基礎調査
板橋区	たまりば・とうしん	事業計画立案
文京区	NPO法人 風のやすみば	印刷物
荒川区	NPO法人 荒川区高年者クラブ連合会	マーケティング基礎調査
足立区	梅島うたの会	映像
多摩市	社会福祉法人 楽友会	マーケティング基礎調査
稲城市	矢野口地区介護予防ラジオ体操会	事業評価
豊島区	楽の会リーラ	マーケティング基礎調査

短期プロジェクト（1日）

地域名	団体名	支援内容
狛江市	NPO法人 むべの会	課題整理ワークショップ
立川市	中高年ミュージカルパフォーマンスグループ たつきい	Facebook活用法提案
立川市	NPO法人 トモニ	チラシ制作
立川市	子育て交流ひろば立川おもちゃ図書館ぱれっと	チラシ制作
日野市	NPO法人 ひの市民活動団体連絡会	チラシ制作
八王子市	八王子高齢者活動コーディネーター会	課題整理ワークショップ
中野区	新井の介護を考える会	課題整理ワークショップ
北区	NPO法人 北区精神障害者を守る家族会 飛鳥会	課題整理ワークショップ
港区	NPO法人 プラチナ美容塾	チラシ制作
大田区	社会福祉法人 大洋社 ひまわり苑	SNS活用法提案
江戸川区	NPO法人 江戸川・地域・共生を考える会	チラシ制作
品川区	街のお助け隊コンセルジュ	課題整理ワークショップ
豊島区	要町あさやけ子ども食堂	Facebook活用法提案
渋谷区	初台生活学校	プレゼンテーション資料作成
三鷹市	みたか・みんなの広場	パンフレット制作

長期プロジェクト **9団体**
短期プロジェクト **15団体**
計 **24団体**

東京ホームタウンプロジェクト 「プロボノ」 による支援（平成28年度）

長期プロジェクト（3～6か月）

地域名	団体名	支援内容
三鷹市	NPO法人 日本シニアジョブクラブ	映像制作
大田区	社会福祉法人 大洋社 ひまわり苑	運営マニュアル作成
八王子市	めじろ台町会連絡協議会	マーケティング基礎調査
八王子市	八王子市シルバーふらっと相談室館ヶ丘	事業評価
世田谷区	NPO法人 全国移動サービスネットワーク	営業資料作成
多摩市	NPO法人 福祉亭	ウェブサイト作成
東大和市	東大和市介護予防リーダー会	パンフレット作成
世田谷区	NPO法人健康フォーラムけやき21	事業計画立案
中野区	東中野五丁目小滝町会	マーケティング基礎調査
世田谷区	一般社団法人日本脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会	マーケティング基礎調査
国立市	市民のためのがん治療の会	マーケティング基礎調査
板橋区	NPO法人ドリームタウン	運営マニュアル作成
文京区	さきちゃんち運営委員会	業務効率改善

短期プロジェクト（1日）

地域名	団体名	支援内容
狛江市	野川元気スクール	課題整理ワークショップ
稲城市	やのくち正吉苑	スペース活用ワークショップ
文京区	NPO法人 風のやすみば	クラウドツール活用法提案
武蔵村山市	地域通貨サークル「助け愛の会」	課題整理ワークショップ
立川市	三多摩市民後見を考える会	課題整理ワークショップ
立川市	在宅ホスピスケア・ボランティア さくら	チラシ制作
練馬区	社会福祉法人キングス・ガーデン東京	スペース活用ワークショップ
港区	きらきらママの会	Facebook活用法提案
八王子市	めじろ台安心ねっと	チラシ制作
八王子市	NPO法人 めじろむつみクラブ	課題整理ワークショップ
武蔵野市	NPO法人 武蔵野すこやか	チラシ制作

長期プロジェクト
短期プロジェクト
28年度計

13団体
11団体
24団体

東京ホームタウンプロジェクト ホームページ



東京ホームタウンプロジェクトとは

プログラム紹介

参加するには？

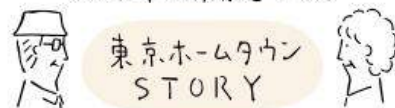
支援実績

東京まちかど通信

東京ホームタウンプロジェクトとは？



2025年の東京をつくる



東京ホームタウンプロジェクトの支援先、参加者、協力団体などを紹介します。



「互いに支え合える社会」への展望と課題
2016年度総括イベント
「東京ホームタウン大学」基調対談レポート



制度の間にある課題をネットワークで解決
「地域福祉コーディネーター」の仕事とは？

八王子市

伴走支援



八王子市市民活動支援センター（NPOさぽーと802）

八王子で「プロボノ」を始めよう。市民活動団体の課題に、“人財”の力で新しい解決策を。

進捗率
完了!

三鷹市

映像



NPO法人 日本シニアジョブクラブ
私のお葬式はどうなるんだろう？
その心配に「大丈夫」と答えられる地域とは。

進捗率
83%

八王子市

事業評価



八王子市シルバーふらっと相談室 館ヶ丘
団地住民の暮らしにどれだけ安心感を提供できているか。事業効果

進捗率
95%



最新情報

2017.03.27

「わたしの時間」VOL.31を更新しました。

2017.03.21

2016年度総括イベント「東京ホームタウン大学」開催レポートを公開しました。

2017.03.15

「お元気さん通信」VOL.11を更新しました。

> 最新情報一覧へ



Facebookページ

「いいね！」をお願いします！



<http://hometown.metro.tokyo.jp>

東京ホームタウン

検索

